

# AR第2地点も新登場! ※2



このパネルへレンズをむけます。

フェンスの内側から眺めます

第2地点は道路を通すために堤防址が分断されるため、壊れる部分の発掘調査を行いました。調査では、第1地点と同じく何度も堤防のかさ上げをしていた様子が確認できました。

第2地点では、かつての堤防と、蛇かご、土層の断面などを見ることができます。※3



写真の中の方は実際に遺構が見えているわけではありません。スマホを通すとこのように見えます。

アプリを起動して眺めると調査時の土層が見えます。眺望ポイントには解説板もあるので見えている遺構の内容などがわかります。



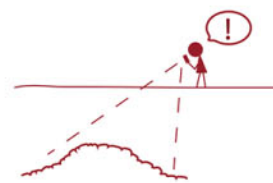
第2地点の調査中の様子。



第1地点での様子(※1)

スマホやタブレットを使って、アプリケーションを起動させ、マーカー(地面に貼り付けられたシートやパネル)へレンズを向けると、地面の下の遺構を360度から覗き込むことができます。右写真のように実際にはシートを向いているのですが、画面の中では上の写真のように見えています。

第1地点では「出し」などが見え、画面右側には標高も示しています。



地域の歴史を伝えたい！  
見えないものも伝えたい！

# ふるさと の誇り 108



## 地中の遺構を眺めるしかけ 「MなびAR」遺跡で散歩



遺跡の解説にもなっているこのシート全体を読み込みます。

### 全国から視察も!



この取り組みは全国から注目されており、熊本県や鳥取県をはじめ全国から視察がありました(写真は三重県津市職員による視察状況です)。

### 伝承館で体験できる!



ふるさと文化伝承館では館内でのデモ体験用にタブレットを用意しています。スマホやタブレットをお持ちでない方ややり方がわからない方も、いつでも体験ができます。

### こんな写真も!



そばに立てば、まるで中を覗き込んでいるかのような写真を残すこともできます。訪れた記念にいかがですか。

写真/文 文化財課

## 「ふるさとの魅力を伝えたい！」

ふるさと博物館  
ワーキンググループ発表会

日時: 7月24日(日)  
会場: 若草生涯学習センター 会議室  
時間: 13:30~16:00  
申し込み不用・無料

「ハコモノ」ではなく、市全体をまるまる博物館のように見立てた構想で、歴史的な魅力をどのようにつむぎ、伝えていくのかを考えます。1月より勉強会に取り組んできた市民の皆さまによる発表です。

## MなびAR 遺跡で散歩

下のQRコードを読み込んで「文化財Mなび」のホームページへ! 詳しい説明やアプリケーションのダウンロードができるストアともつながっています。アプリは無料です。



### 地下の歴史資源も地域の魅力

遺跡でのAR技術の活用は全国でも非常に少なく、史跡などで建物を復元して見せるといった取り組みが少しあっただけで、地下の遺構を再現する試みは国内で始めての取り組みでした。ぜひ、地下の歴史資源を体感してみてください。

### 「御熊野堤」の調査成果を体感する

八田地区、旧運転免許センターの南側の土手は明治三二年まで流れていた「前御勅使川」の右岸を守る堤防跡で、古くから「おくまんどい」と呼ばれていました。発掘調査では、河床が砂で埋まって高くなるとまた堤防を上積み上げて、何度も堤防のかさ上げをしていた様子や、これまでわかっていなかった「出し」の存在など、先人の水との闘いの歴史が確認できました。

道路工事の計画などに伴って発掘調査が行われた遺跡は、調査後は破壊もしくは埋め戻されることとがほとんどです。そこで、AR(拡張現実)技術を用いて、発掘時の姿をスマートフォンなどの画面上に再現する取り組みを行っています。実際には見ることのできない地面の下の遺跡を、現在の風景の中でぞき見ることができるのです。

### アプリ「MなびAR」遺跡で散歩

※3 すでにアプリケーションを使用されている方も、第2地点を体験するにはver2.0が必要となります。危険なため、道路に下りて利用することのないようお願いします。

※1 第1地点のマーカーは旧運転免許センターの南西の角、新しくできた歩道に貼り付けられています。歩道内でご利用ください。  
※2 第2地点のマーカーは第1地点から歩道沿いに200m東へ移動した地点です。